

高取町都市計画マスタープラン

【概要版】

令和2年3月

 高取町

1. 都市計画マスタープランの位置付け

1-1 位置付け

高取町都市計画マスタープラン（以下「都市計画マスタープラン」という。）は都市計画法第18条の2に基づく高取町（以下「本町」という。）の都市計画に関する基本方針で、奈良県が定める奈良県都市計画区域マスタープランや高取町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を上位計画としています。

1-2 対象地域

本町は、町域全域が都市計画区域のため、町域全域が対象となります。

1-3 目標年度

平成27年度を基準年度とし、20年先を展望しつつ、本町の総合戦略との整合を踏まえ、令和8年度を目標年度とします。また、社会情勢の変化に対応し、柔軟に見直しを行うこととします。

1-4 今回の改訂点

今回の改訂は、平成29年3月に策定した都市計画マスタープランの内容を基本とし、本町を取り巻く環境の変化を踏まえた内容変更を行うとともに、構成や記載項目の見直しを行っています。

■改訂点

1. 都市計画道路の変更
2. 都市構造の見直し
3. 整備方針の見直し
4. 構成、内容の見直し

2. まちづくりの課題

2-1 まちづくりの課題

本町を取り巻く環境を踏まえて、まちづくりの課題は以下のとおりです。

- 1 人口減少社会を見据えたまちづくり
- 2 安全、安心に暮らせるまちづくり
- 3 観光、レクリエーション機能の強化
- 4 産業振興

3. 全体構想

3-1 都市計画マスタープランの基本的な考え方

総合戦略では、まちの将来像を「一人一人が輝けるまち 高取 ～子供から高齢者までみんなで取り組むまちづくり～」を掲げています。

都市計画マスタープランでは総合戦略に掲げる将来像の意味を踏まえ、令和8年度を目標とした今後の「まちづくりの理念」を次のように設定します。

一人一人が輝けるまち みんなで取り組むまちづくり

また、都市計画マスタープランの「基本方針」は以下のとおりとします。

基本方針1 安心して子育てができるまち	基本方針2 心豊かに、人が支え合い暮らせるまち
基本方針3 訪れたいくなるまち、住みたいくなるまち	基本方針4 産業振興により活力あるまち

3-2 将来の都市構造

(1) 基本的な都市構造

本町は、北部と南部の森林地域によって町が縁どられ、南北方向に国道 169 号が縦断し、土佐街道沿いに都市的土地利用が展開しています。また、近鉄吉野線は中央部に開ける平野部を北から南西に通過し、大阪、京都、奈良方面の玄関口である壺阪山駅、途中に市尾駅、御所市との境界付近に葛駅（御所市）が設置され、これらの駅周辺も都市的土地利用が展開しています。

一方、広域的な新しい都市軸としては、令和元年 8 月に都市計画道路御所高取線の都市計画変更が行われ、本町の西側を南北に通過する京奈和自動車道の御所 I C へのアクセスが飛躍的に向上します。

今後のまちづくりでは、社会経済情勢の変化を捕え、本町の自然、歴史、文化、産業の保全と活用を基調としつつ、従来の広域連携軸を生かしたまちづくりを展開します。また、新たな広域軸を生かし、戦略的かつ適切な土地利用の誘導を図ることで、持続可能なまちづくりに取り組んでいく必要があります。

(2) 都市軸

● 広域連携軸

国道 169 号を本町の広域連携軸（南北軸）として位置付け、奈良、橿原、吉野、新宮など広域との連携強化を図ります。また、都市計画道路御所高取線は、京奈和自動車の御所 I C を介して、京都、大阪、和歌山方面と高速道路で結ばれることから、本町の将来都市構造における広域連携軸として位置付けることができます。

● 地域連携軸

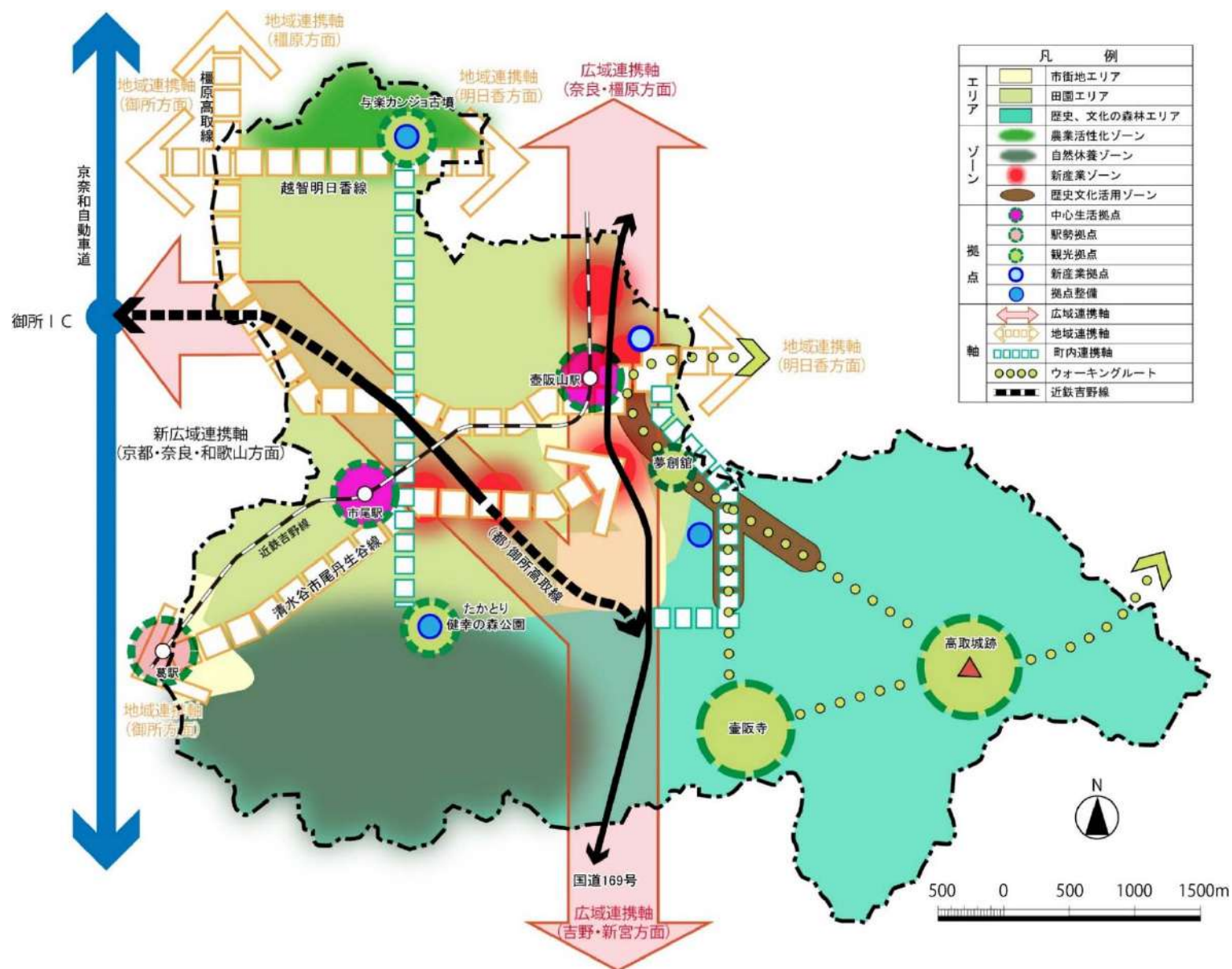
地域連携軸は、隣接市町村を結び地域的な連携を促進する軸として、東西方向の町道越智明日香線、県道橿原高取線、町道清水谷市尾丹生谷線を位置付けます。

● 町内連携軸

町内連携軸は、各地域間の交流や施設の連携の促進を図るとともに、中心生活拠点や観光拠点へのアクセスを確保します。

● ウォーキングルート

伝統的町並み、壺阪寺、高取城跡を結ぶルートをウォーキングルートと位置付け、歩行者動線による歴史、観光拠点をつなぐネットワークを形成します。



(3) 主要な拠点の配置

● 中心生活拠点

本町のエントランスであり、商店などが立地し、住民にとって最も身近な生活拠点となる壺阪山駅と市尾駅周辺地区に中心生活拠点を配置します。

● 駅勢拠点

葛駅（御所市）の駅勢圏では、本町内に住宅市街地が形成されており、葛駅周辺は住民の生活拠点となる機能を有することから、駅勢拠点として配置します。

● 観光拠点

観光の中心的役割を担う高取城跡と壺阪寺の観光拠点に加え、与楽カンジョ古墳を始めとする与楽古墳群、たかとり健幸の森公園、土佐街道沿いの観光案内所「夢創館」を新たな観光拠点として配置します。

● 新産業拠点、拠点整備

与楽古墳群やたかとり健幸の森公園などに新たな拠点を配置します。

(4) 土地利用エリアと土地活用ゾーン

● 市街地エリア

歴史や文化と調和し、安心、安全な住環境を維持するエリアです。

● 田園エリア

美しい田園風景を有し、自然環境と調和したエリアです。

● 歴史、文化の森林エリア

東南部の丘陵地を中心としたエリアで、豊かな自然環境を有し、また歴史的資源も数多く存在しており、貴重な資源の継承が求められるエリアです。

● 農業活性化ゾーン

北部に位置し、農業の魅力化、ブランド化を進めるゾーンとして配置します。

● 自然休養ゾーン

自然環境に恵まれた南西部に、新たな地域振興として自然休養ゾーンを配置します。

● 新産業ゾーン

広域幹線道路沿道で、企業の立地誘導を進めるゾーンとして配置します。

● 歴史文化活用ゾーン

伝統的な町並みや歴史的建造物が残る土佐街道沿いは、歴史文化を活用したまちづくりを進めるゾーンとして配置します。

3-3 都市計画マスタープランの整備方針

(1) 土地利用

今後の土地利用に関して、以下の4つの基本方針を掲げ、住民、企業や行政などの全ての主体が協力、連携しながら計画的かつ適切に進めます。

- ・ 中心生活拠点となる近鉄壺阪山駅及び市尾駅周辺の機能強化。
- ・ 安心して暮らせる住環境の整備。
- ・ 広域連携軸において、計画的な土地利用の誘導。
- ・ 山林や農地の適切な保全、整備。

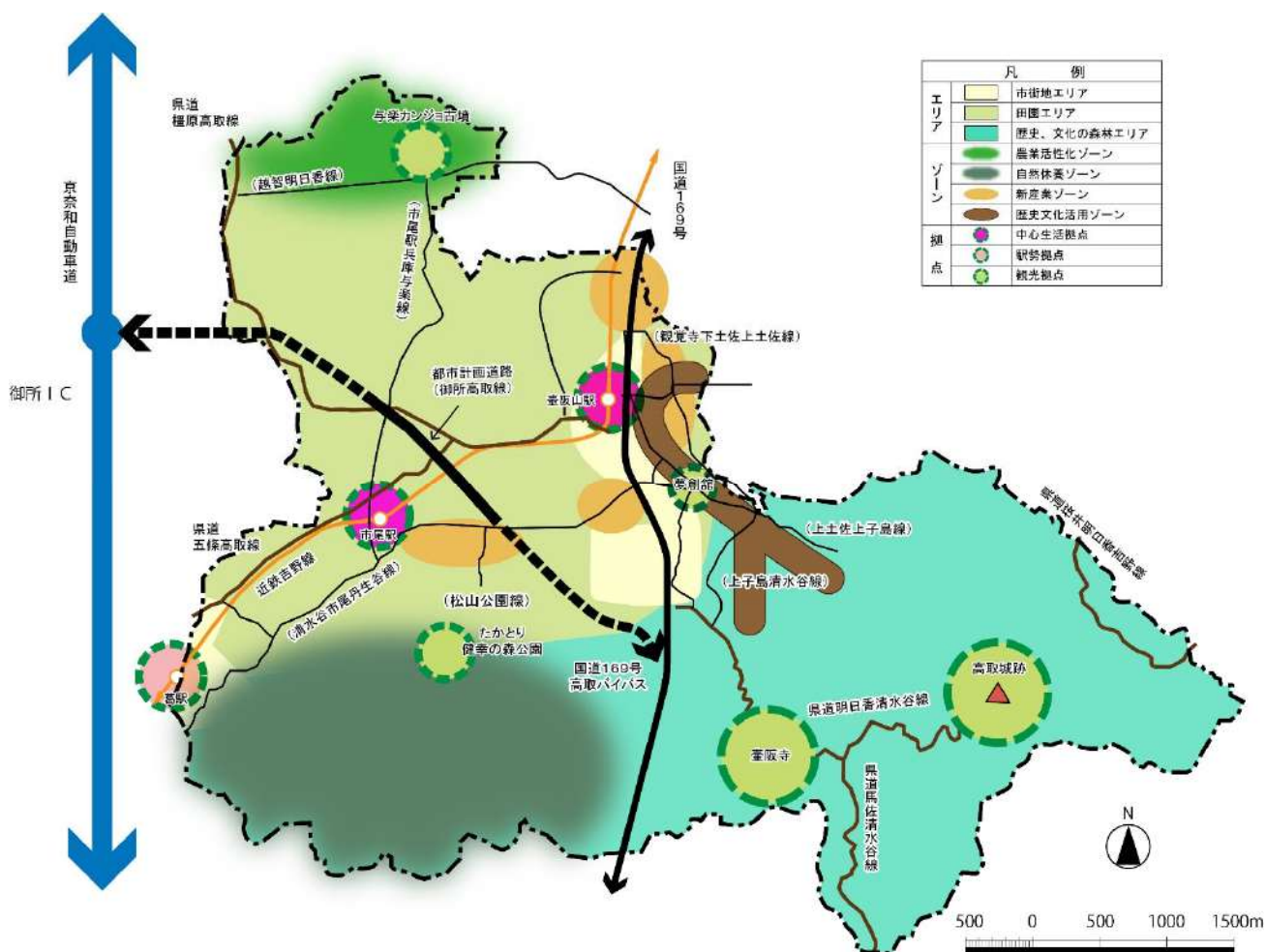


図 3-2 土地利用の方針図

(2) 都市施設

① 交通体系づくり

1. 道路網の整備、見直し

- ・広域的な幹線道路の整備を促進し、これにつながる道路網の整備を行います。
- ・道路網の整備は、土地利用の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。
- ・地域間や集落間を連絡する既存道路の維持補修を行います。

2. 道路関連施設の整備

- ・公共交通機関の路線充実や、ルート変更などを関係機関に働きかけます。
- ・橋梁などその他のインフラは、適切な整備、長寿命化や維持管理により、ライフサイクルコストの縮減、平準化を図ります。

3. 歩行者への対応

- ・土佐街道の通過交通を排除し、歩行者を重視した道路のネットワーク化を図ります。

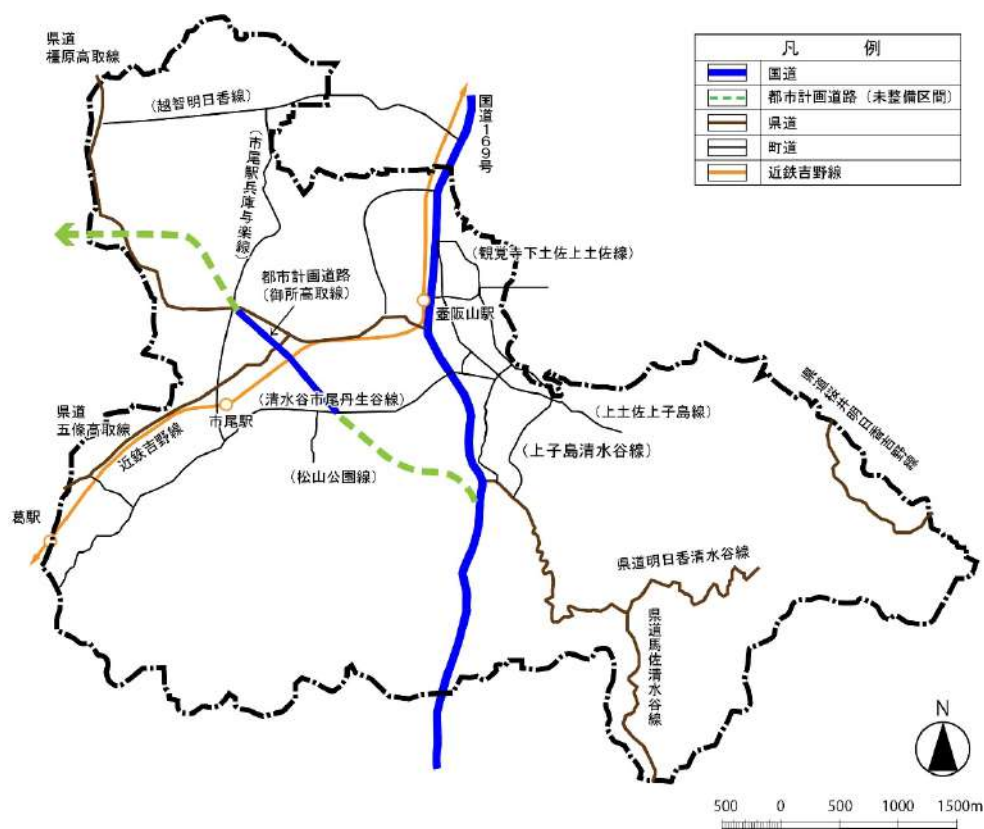


図 3-3 交通体系づくりの方針図

② 水道施設

- ・安心して飲めるおいしい水を常時提供するため、水道施設の整備を行います。

③ 汚水処理施設

- ・高取町流域関連公共下水道事業計画に基づき、下水道管渠施設の整備を行います。

④ 保健、福祉施設

- ・地域住民がお互いに支え合えるコミュニティづくりを推進します。

⑤ 教育、生涯学習施設

- ・教育、生涯学習施設の充実を図ります。

⑥ 公園

- ・子供たちが、安全でのびのび楽しく遊べる場を確保します。
- ・住民が利用しやすく、集まりやすい広場づくりを行います。

(3) 生活環境

① 自然、歴史、観光

- ・防災対策を行いながら、緑地や河川の保全と活用を図り、緑と水に親しめる環境づくりを行います。
- ・まちづくり団体との連携により、観光を軸としたにぎわいの創出を図ります。また、観光拠点の整備を進め、本町が有する豊かな自然や歴史環境を生かした交流人口の拡大を図ります。
- ・高取らしい恵まれた自然環境を守り、開発に当たっては、自然との調和を図り人にやさしいまちづくりを行います。

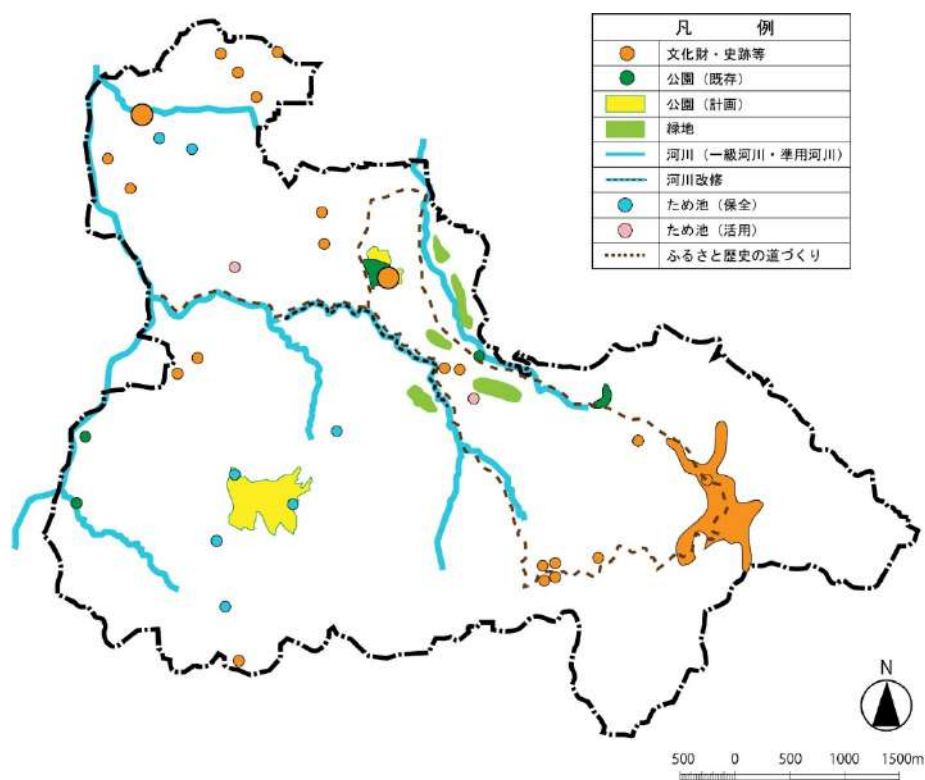


図 3-4 自然・歴史・観光資源の方針図

② 防災

- ・災害に強い安全な暮らしを確保するため、高取町地域防災計画に基づき、消防、防災施設や体制を整備し、自然災害対策を行います。

③ 都市景観

- ・本町の緑豊かな自然や歴史を保全、活用し、安らぎと潤いのある美しい景観づくりを行います。
- ・便利で分かりやすく、個性のあるまちづくりを目指し、サインの整備などを行います。

④ 住環境

- ・少子高齢化社会に対応し、安心して暮らせる潤いを感じる市街地や集落づくりを行います。
- ・自然環境などの地域特性を生かし、魅力ある住宅地の誘導を図るとともに、公害の防除に努めながら住居系市街地の住環境の向上を図ります。
- ・空き家対策を実施し、良好な住環境の形成を行います。
- ・昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てられた建築物の耐震診断を促進します。

4. 推進方策

4-1 都市計画マスタープランの見直し

関係部署相互の連携を図り、都市計画マスタープランの進捗状況を把握するとともに、事業の進捗状況を随時公開します。

また、都市計画マスタープランは計画が長期にわたるため、社会情勢の変化に対応して柔軟に見直しを図ります。

4-2 都市計画マスタープランの進行管理

都市計画マスタープランを実現するためには、事業の進行を適正に管理し、進捗状況を明らかにするとともに、社会情勢や住民ニーズの変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを検討します。

このため、計画（Plan）を策定し、これを実行（Do）に移し、その成果を点検（Check）し、これを踏まえて改善（Action）し、更に次の計画へとつなげていく PDCA サイクル手法による進行管理を行います。



高取町
令和2年3月

〒635-0154 奈良県高市郡高取町観覚寺990-1
電話：0744-52-3334（代表）
<https://www.town.takatori.nara.jp>